学校番号	3019

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	コミュニケーション技術	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「コミュニケーション技術」　（実教出版）						
副教材等	「介護職員初任者研修テキスト」（ＱＯＬサービス） 「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規） 「漢検３級をひとつひとつわかりやすく。」（株式会社 Gakken）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

対人援助で必要なコミュニケーションに関する基礎的な知識や技術を学び、施設実習やボランティア活動を通じて実践力を高めていきます。２年生では、高齢者や障がい者、その家族など具体的な介護場面を想定したコミュニケーション方法について検討し、介護福祉士として必要な専門性を身に付けます。

①相手（利用者）の気持ちを理解するためのコミュニケーション方法について、興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。

②２年福祉科目の授業のなかで介護職員初任者研修課程を実施し、資格取得をめざします。

③国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

2　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、対人援助や福祉実践の場での人間関係の構築に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

【知識および技術】

対人援助について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

【思考力、判断力、表現力等】

対人援助の展開に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

【学びに向かう力、人間性等】

健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、適切な対人援助に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対人援助について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	対人援助の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、適切な対人援助に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	介護職員初任者研修課程	【介護職員初任者研修課程】 5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション	a: 対人援助におけるコミュニケーションやチームにおけるコミュニケーションの基本を理解している。 b: 利用者の心身状況に応じたコミュニケーション方法について考察し、適切に提案することができる。 c: 対人援助におけるコミュニケーションに関心を持ち、介護を必要とする人の気持ちに寄り添ってコミュニケーションを図るための主体的で協働的な態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習状況の観察	ワークシート 学習状況の観察 提出ノート
2学期	第2編　サービス利用者や家族とのコミュニケーション	第2編　サービス利用者や家族とのコミュニケーション 第1章　サービス利用者や家族との関係づくり 1　利用者や家族との関係づくり 2　家族への支援	a:サービス利用者や家族に応じたコミュニケーションについての基本的な知識を身に付けている。 b: サービス利用者やその家族との信頼関係の構築について思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに、適切に提案することができる。 c: サービス利用者や家族に関心を持ち、介護を必要とする人とその家族の気持ちに寄り添い、主体的にコミュニケーションを図るための態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習状況の観察 ロールプレイ	ワークシート 学習状況の観察 ロールプレイ 提出ノート

2学期	第2編　サービス利用者や家族とのコミュニケーション	第2章　サービス利用者に応じたコミュニケーション 1　高齢者とのコミュニケーション 2　障がいとコミュニケーション	a: 高齢者や障がい者とのコミュニケーションにおける基本的な姿勢や方法について理解している。 b: 高齢者や障がい者の心身状況に応じたよりよいコミュニケーション方法を考察し、適切に提案することができる。 c: 高齢者や障がい者とのコミュニケーションについて関心をもち、老化や障がいに応じたコミュニケーション方法を探究する態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習状況の観察	 ワークシート 学習状況の観察 提出ノート
		3　視覚障がいのある人とのコミュニケーション 4　聴覚障がいのある人とのコミュニケーション 5　言語障がいのある人とのコミュニケーション 6　運動機能障がいのある人とのコミュニケーション 7　知的障がいのある人とのコミュニケーション 8　認知症のある人とのコミュニケーション	a: 具体的な障がい（視覚・聴覚・言語・運動機能など）者とのコミュニケーションについて、特性に応じたコミュニケーションについての基本的な知識を身に付けている。 b: 具体的な障がい（視覚・聴覚・言語・運動機能など）に応じたよりよいコミュニケーション方法を考察し、適切に提案することができる。 c: 具体的な障がい（視覚・聴覚・言語・運動機能など）に応じたコミュニケーション方法に関心を持ち、当事者の気持ちに寄り添ったコミュニケーションを図るための主体的な態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習状況の観察	 ワークシート 学習状況の観察 提出ノート

3学期	第3編 介護におけるチームのコミュニケーション	第3編 介護におけるチームのコミュニケーション 第1章 記録 1 記録の意義と目的 2 記録の種類 3 記録の方法と管理 4 振り返り	a: 介護現場における記録の意義と目的、種類、方法と管理について基本的な知識を身に付けている。 b: 介護現場における記録の重要性について考察し、適切に表現することができる。 c: 介護現場における記録について関心をもち、効果的な記録の仕方と活用方法について探究する態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習状況の観察	ワークシート 学習状況の観察 提出ノート
		第2章 チームによる連携 1 チームのコミュニケーション 2 情報の共有化 3 会議による情報の共有化	a: 介護現場におけるチームの情報の共有方法について、基本的な知識を身に付けている。 b: 介護現場でのチームケアにおける連携の重要性について考察し、適切に提案することができる。 c: 介護現場におけるチームケアについて関心を持ち、情報の共有やチームによるコミュニケーションを図るための主体的で協働的な態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習状況の観察	ワークシート 学習状況の観察 提出ノート
		第3章 スーパービジョンの技法 1 スーパービジョンとは 2 スーパービジョンの方法	a: 介護現場におけるスーパービジョンの必要性と機能について理解している。 b: 効果的なスーパービジョンについて考察し、適切に提案することができる。 c: 介護従事者としての自己成長について関心を持ち、効果的なスーパービジョンについて探求する主体的な態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習状況の観察	ワークシート 学習状況の観察 提出ノート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度